

## 子どものセーフガーディングのための行動規範

### **求められる行動** 子どもと関わるすべての関係者は、以下の実践が求められます

#### ◆安全の確保とリスク管理

- A. 子どもを危険にさらすことのないよう、常に安全に配慮して行動すること
- B. リスクを最小限に留められるよう、計画段階で活動内容や実施環境を適切に整えること
- C. 可能な限り、他者の目が届く場所で子どもと接すること
- D. 子どもの身辺の手伝いが必要な場合は、子どもの意思や多様性（年齢、障害、ジェンダー等）に配慮し、必要最低限の支援をすること
- E. 自ら規範違反との疑いを招くような言動を控えること

#### ◆信頼関係と対話の促進

- F. 不適切な行為や、子どもにとって望ましくない文化・慣習を見過ごすことなく、注意深く行動すること
- G. 子どもの権利やセーフガーディングについて広く伝え、普段から子どもの声を尊重して対話すること
- H. 関係者の振る舞いに子どもが違和感や疑問を持ったときに、遠慮なく相談できるよう支援すること

### **禁止事項** すべての関係者に対し、以下の行為を禁じます

#### ◆身体的・性的な虐待および不適切行為

- I. 子どもへの体罰や暴力によって身体的な苦痛を与えること
- J. 子どもと性的な行為・関わりをもつこと
- K. 子どもを搾取したり、傷つけるおそれがある、またはそのようにみなされる関わり方をすること
- L. 性的、もしくは過激な暴力を含む不適切な画像、動画、ウェブサイト子どもを誘導すること
- M. 子どもを虐待の危険にさらす可能性のある行動をとること

#### ◆不適切な言葉・態度

- N. はずかしめる、自尊心を損なう、軽視する、見下すなど、子どもの心を不当に傷つけること
- O. 子どもに対して攻撃的、有害、不適切な言葉を用いたり、そそのかすこと
- P. 特定の子どもの差別やえこひいきをし、他の子と異なる扱いや排除をすること
- Q. 恐怖や不安を与えたり、性的な連想をさせる身振りや態度を取ること

#### ◆不適切な接触・連絡・関わり

- R. 子どもに不要な身体的接触を行うこと
- S. 活動に参加している子どもと同じ布団、または同じ部屋で寝ること（例外時は監督者の許可が必要）
- T. オンラインでのやりとりを含め、活動に関わる子どもと業務目的以外で個人的な連絡をとること
- U. 子どもと保護者の同意を得ずに、個人が特定される写真や動画を撮影し、その他の個人情報を掲載、投稿すること。またそのデータを私的に保管・使用すること
- V. 子どもによる違法、危険、または乱暴な振る舞いを看過したり、加担すること